

## 患者説明文書

### 悪性リンパ腫に対する R-CHOP 療法クリニカルパス改訂に向けたパス適応症例の 後方視的検討 臨床研究へのご協力のお願い

#### 1. 研究の目的と方法

病院では様々な職種のコラボレーションによって患者様への治療が行われています。様々な職種が最も効果的に治療に関わることによって、より良い診療を患者様に提供できるように立てた病気ごとの検査、治療計画を「クリニカルパス」といいます。クリニカルパスは改訂を重ねることによって、さらに患者様の治療の成績の向上や合併症の軽減、生活の質の向上や病院業務に寄与することができるようになります。

今回、悪性リンパ腫の化学療法である R-CHOP 療法について、クリニカルパスに関わる様々な因子を、統計を用いて解析することによってクリニカルパスの改訂を行います。

#### 2. 実施担当医師

京都第一赤十字病院血液内科 研究統括医師：松本洋典（副部長）

研究分担医師：内山人二（部長）、岩井俊樹（副部長）、古林 勉（副部長）、大城宗生（医長）、中村隆久（専攻医）、中山里菜（専攻医）、加藤大思（専攻医）

#### 3. 研究の方法

今回の研究の対象は、2019年12月1日～2022年6月30日に悪性リンパ腫（B細胞性非ホジキンリンパ腫）に対し、クリニカルパスを用いて R-CHOP 療法（もしくは R-THP-COP 療法）を受けて頂きました当院入院患者様です。カルテから得られる臨床所見を解析します。本研究の結果は、個人情報保護に十分な配慮を行った形で、医学論文、場合によっては学会発表として公表する予定です。

#### 4. 患者さんの利益、不利益（リスク）および同意取得

本研究は、通常の診療情報の解析のみを行うもので、患者さんへ利益も不利益も生じません。本研究の参加に関しては、本揭示をもって文書同意に代えますが、御同意頂けない場合は、研究への参加を取り消しますので、下記までご連絡下さい。

#### 5. 研究事務局、患者問い合わせ窓口

〒605-0981 京都市東山区本町 15 丁目 749 番地 京都第一赤十字病院血液内科  
電話 075-561-1121 (代表) FAX 075-561-6308  
研究統括医師 松本 洋典